

再就職をお考えの方へ

「和歌山県就活サイクルプロジェクト」 合同企業説明会の開催について

和歌山県では、結婚や出産等で離職した女性、定年退職した方、都会で働く方に県内で再び働いていただくため、2月を就活強化月間と定めて4月の就職を目指す「第2の就活サイクル」を推進しています。

2月の就活強化月間に合同企業説明会を開催しますので、再就職を目指す皆さま、積極的にご参加ください。

◆田辺会場(30社 参加予定)

- 日 時：令和2年2月10日(月)13:00~16:00
- 場 所：紀南文化会館 小ホール 田辺市新屋敷1

◆和歌山会場(100社 参加予定)

- 日 時：令和2年2月18日(火)13:00~16:00
- 場 所：和歌山ビッグ愛 大ホール・展示ホール
和歌山県和歌山市手平2丁目1-2

◆対象者：結婚や出産等で離職した女性、定年退職された方、県外からのUIターン等の再就職希望者
事前申込みいただくと受付がスムーズに行えます。電話、FAX、WEBサイトよりお申込みください。

和歌山県再就職支援センター

検索



※再就職支援センターのホームページに参加を予定している企業の企業情報を掲載しています。

■お問合せ・お申込み 和歌山県再就職支援センター ☎073-421-8080 FAX 073-424-0230

なかつ地域子育て支援センターから お知らせ

のびのび広場 「つくって遊ぼう!(おひなさま)」

- 日 時 令和2年2月14日(日) 10:00~11:30
- 場 所 健康管理センター(中津)
- 対 象 2歳以上未就園児と保護者の方
(中津・美山地区には案内を送付します)

★川辺地区の2歳以上未就園児親子で、興味のある方は、2月7日(金)までになかつ地域子育て支援センターへお問合せください。



お問合せ

なかつ地域子育て支援センター(なかつ保育所内)
☎54-2031

広告

最近、再びホームページ作成の問合せが増えています。当方では、ご自身でホームページ(W Wordpress)を作成するお手伝い、または、すべておまかせでホームページを作成させていただき、2つのプランをご用意しています。まずはお気軽にお問い合わせください。



そうがわパソコンサポート 🔍 検索

かわべ地域子育て支援センターからお知らせ

かわべほのほのルーム 「親子ふれあい体操」

- 日 時 令和2年2月12日(日) 10:00~11:00
- 場 所 かわべ保育所(遊戯室)
- 内 容 桑原里美先生に来ていただきます。
お楽しみに。

■対 象 日高川町在住未就園児の親子
※かわべ地域子育て支援センターへお申込みください。

第3土曜日 園庭開放

日時 2月15日(日)
[10:00~11:00] ※雨天中止

お問合せ

かわべ地域子育て支援センター(かわべ保育所内)
☎22-9266

広告

会員が楽しく活躍しています!!

- 一緒に活動しませんか? (原則60歳以上の方)
- 仕事で足腰の健康に役立ち、収入も入り一石二鳥。
- 新しい仲間ができた。新鮮で楽しい。 ※女性会員も活躍中です!

ご家庭の皆様 および 事業所の方々へ
さまざまなお仕事をお引き受けしています

シルバーにおまかせください! みなさまのお役にたちます!

お問合せ先 日高川町シルバー人材センター
電話(0738)24-9012 FAX(0738)22-8686
〒649-1324 日高郡日高川町大字土生160番地2

厚生労働省委託事業 地域によって下記内容を計画しています
高齢者活躍人材確保育成事業 ■就業体験 ■技能講習

公益社団法人 和歌山県シルバー人材センター連合会

地域を変えていく新しい力

日高川町 地域おこし協力隊 通信

vol.44

地域の活性化や農林漁業の応援など地域協力活動を行っている「地域おこし協力隊」の活動の様子をお知らせします。



川窪 祐司

人生で初めて鹿と猪の解体を体験しました。

日頃からお世話になっている方から、「罨に鹿が掛かった」との連絡が入りましたので、現場に向かいました。

その方は罨の講習を受け、そこでいただいたアドバイスの通り、基本的に忠実に罨を仕掛けて、一週間で掛かったそうです。その場所には獣の痕跡(獣道や足跡、糞等)が多数ありました。

私もその方も狩猟初心者のため、罨に掛かった後の作業はベテラン猟師の方にご教示いただきました。掛かったのは推定1歳の雄鹿で、猟師さんが止め刺しを行った後に作業場に搬送しました。

そこで、皮を剥く作業と肉から骨を外す作業を体験させていただきました。

猟師さんは上手に解体していましたが、体験させていただくと、刃を入れる場所や角度、力加減が難しく、綺麗に取り分けることができませんでした。

解体作業には時間がかかり、終わる頃には日が暮れて寒くなっていました。

普段何気なく食べている牛肉や豚肉も、元は命あるもので、その命をいただいているということを再認識しました。

鹿や猪を殺生することに抵抗のある方は多いと思います。動物の命に対する考えは人それぞれです。肉を全く

食べない、牛・豚・鶏は食べるけど鹿・猪は食べたくない、食べるのは良いけど自分で殺生したくない、など様々な考え方があります。

外国では犬を食べる文化がある地域もあります。私自身、犬は家族の一員だと思っているので、犬を食べることは考えられません。

日本では、犬や猫の殺生は勿論NGですが、狩猟免許を取得していれば鹿や猪を狩猟することができます。「命の線引きって難しい」と、考えさせられました。

人間にとって住みよい環境を守るためには、鳥獣害対策(捕獲・防護柵等)は必要です。

今後、いただいた命をできる限り無駄にしないように、皮剥ぎ用と解体用のナイフを入手しました。



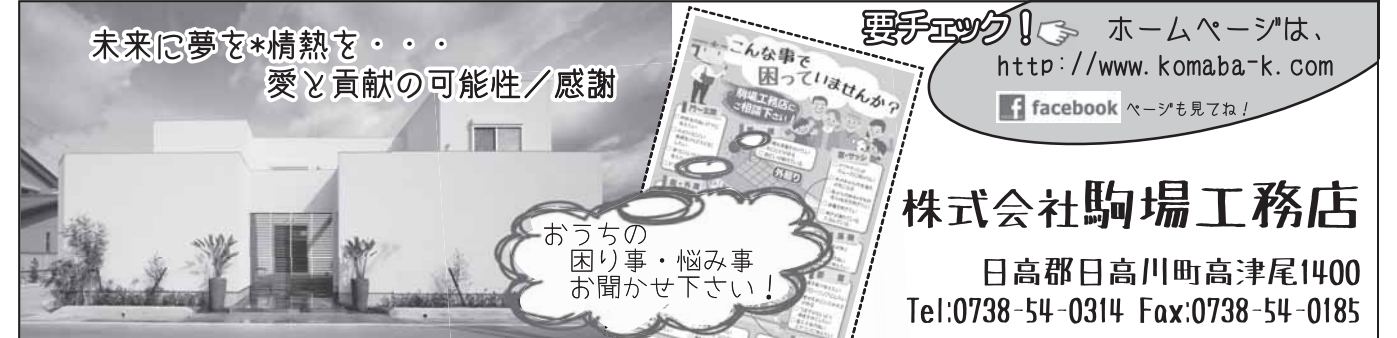
罨に掛かった鹿

■お問合せ 企画政策課 ☎22-2041

広告

未来に夢を*情熱を...
愛と貢献の可能性/感謝

要チェック! ホームページは、
<http://www.komaba-k.com>
facebook ページも見てね!



おうちの
困り事・悩み事
お聞かせ下さい!

株式会社駒場工務店

日高郡日高川町高津尾1400
Tel:0738-54-0314 Fax:0738-54-0185